「平成 29 年度 ヘリテージマネージャー修了者技術向上事業」

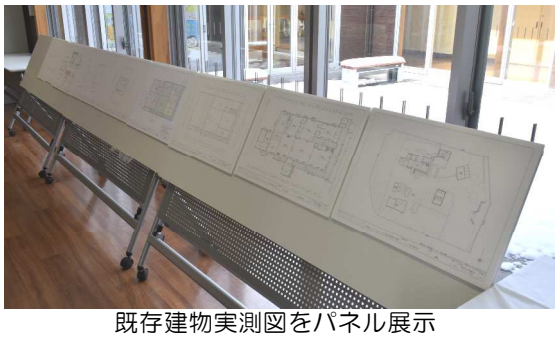
“地域の文化遺産に、快適に住むこと・活かすこと” シンポジウム

～ 涌谷の武家屋敷の保存活用の方策づくり ～

平成30年2月12日（祝）13時、涌谷町公民館 交流ホールで 涌谷町長 大橋信夫氏、文化庁文化財部参事官（建造物担当）登録部門調査官小沼景子氏、涌谷町指定文化財「佐々木家住宅」所有者 佐々木茂楨氏をお招きして、宮城県地域文化遺産復興プロジェクト実行委員会 主催、（一社）宮城県建築士会 事業協力、東北工業大学 工学部建築学科 中村琢巳研究室 協力によるシンポジウムが開催されました。

シンポジウムでの発表に向けて、ヘリテージマネージャー修了者によって、佐々木家住宅の実測調査を行い、図面作成および、その活用提案について話し合いを行い、資料を作成しました。

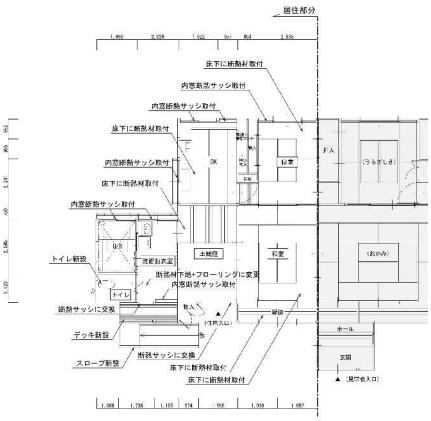
「佐々木家住宅」模型
（製作：東北工業大学 中村研究室）



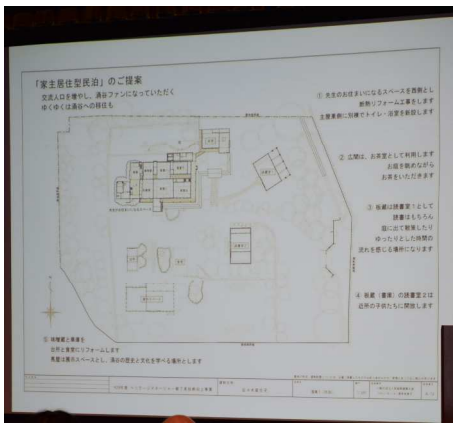
既存建物実測図をパネル展示
（作図：菊地正幸・遠藤洋子・清本多恵子・小林淑子）

「涌谷の町について」 町を活気づける活用の提案
（東北工業大学工学部建築学科講師 中村琢巳氏）

「地域の財産である建物の活かし方」
（文化庁文化財部参事官 小沼景子氏）



砂金会長製作制震ダンパーパワポ



すまい方の提案を２案（提案：今野榮一）

活用の提案を２案（提案：佐藤克彦・清本多恵子）

当日は、大雪にもかかわらず、午前中の「佐々木家住宅」見学会に26 名、シンポジウムには 95 名の方にお越しいただきました。

この事業は来年度も行ないます。ヘリテージマネージャーの皆様には、ご参加頂きたいと思いますのでよろしくお願いします。

実行委員会山田会長 建築士会砂金会長